

第5回 高校生との意見交換会

～光の窓から日本の空を～



令和2年2月8日（土） 13：00～15：20

場所 光市議会本会議場

次 第

- 開会セレモニー
- 議会からの説明
- 高校生の主張「私の一票がつくる光の未来」
- 休憩
- 高校生と市議会議員の意見交換
- 閉会セレモニー

1 高校生の主張

光丘高等学校 【発表者】

加賀美 輝 さん

高校生の主張「私の一票がつくる光の未来」



こんにちは。私は光丘高校一年の加賀美輝です。

「私の一票がつくる光の未来」のテーマについて発表させていただきます。

私は光市に住んでおり、現在16歳で、あと2年で選挙権を持ちます。しかし、私を含め多くの高校生は、今投票しろと言われても、政治にかかわる機会が多くはないため、自分の意見に自信を持つことが出来ません。加えて、（先ほど議会からのご説明にあ

ったように）選挙年齢が18歳に引き下げられ、投票率が高まりましたが、翌年には大幅に減少してしまったことは、若者の政治についての関心の低さが変わっていないことを表しているのではないのでしょうか。

ですが、一人ひとり意見は持っていると思います。例えば、私は光市に若者が立ち寄りたと思えるような場所が欲しいと思っています。これは普段の学生生活でも感じていることです。ここで、光丘高校生の日常について、ご紹介いたします。午後3時45分に終礼が始まり、終礼が終わると同時に、部活のない生徒は4時8分の電車に乗るために、全速力で走ります。4時32分の電車があるにも関わらずです。これはどういうことかということ、「光市で30分を過ごす」とことと「全速力による肉体的疲労」を天秤にかけたときに後者の方が勝っているということです。残念ながら光市は自由な時間を過ごす候補から外れ、下松市、周南市で遊ぶという選択を彼ら彼女らは取っているのです。またテスト週間には、多くの生徒が徳山駅近くの図書館に行きます。柳井方面からわざわざ行く生徒もいます。光市にも図書館があるにもかかわらず・・・光市に住んでいる私には、それが悔しいです。悲しいです。もっと光市にいて欲しい、遊べるような施設、立ち寄りたと思ってもらえるような場所があれば願っています。

私以外の人も少なからず、光市に対し多くの意見を持っています。ですがそれを、光市を

変えるような大人の方に伝える機会がありません。

今光市では、市長は中学生や高校生との交流会で、議員は市民を対象とした議会報告会や高校生を対象としたこのような意見交換会を通して、光市の政治や経済について関心を持ってもらうよう努めておられます。ですが、今の中学校、高等学校での交流会は生徒会や一部の生徒にしか交流が出来てないように私は感じます。

そこで提案ですが、光市の議員の皆さんや市役所の皆さん、光商工会議所の皆さんと全校生徒がグループに分かれて、気軽に話し合う機会をつくったらどうでしょうか。

光丘高校では下松市や周南市など市外から通学する人が大半であり、自分の住んでいるまちと光市との違いや短所などを知っています。それに光市の魅力を知り尽くしている光市民の生徒、議員や商工会の皆様を加えれば、気軽な議論がもしかしたら光市を変えるきっかけになるかもしれません。加えて、議員の皆さんが何を考えて、光市のまちづくりをどのように考えておられるのかわかり、投票する判断基準も身につくようになるという副産物を得られると思います。

高校生が政治や経済に関心を持てるようになれば、私たちの一票が増える、光市を変革する、より関心を持てる、また票が増える、このサイクルが光市の未来を明るくすると思います。

○森戸議員



確かに私も若いころは光にも買い物ができる大きな店や遊べるところがあればいいと思っていました。20年後の光の人口は3万人台で、現在でも人口が増加しているところは東京と福岡だけです。今後のまちの生き残り戦略として、経済圏が一つの周南3市で人口のダムをつくりマーケットを創出する。3市の中で重複する施設は極力つくらず、出来るだけ共同で運営や調達できるものは一緒にいきスケーラブルなメリットを生かす。要は近隣市町で競争

せず、一緒に勝ち上がる戦略です。手法としては、ないもの探しではなく、あるもの探しをしてそこを伸ばすことで、それぞれが差別化できます。

光市の特徴で、特異的なものをデータで示すと、介護認定率は14.7%と県内で最も低く、健康寿命（介護を必要とせず自立して生活ができる期間）も最も長くトップ。持ち家比率も県内でトップ、道路舗装率も県内でトップ、母乳育児率も約70%で全国平均30%の倍、日照時間も全国で30番以内です。皆さんが飲む島田川の水は世界的に有名な日本酒、瀬祭も使うほどおいしい水である。小中学校で導入されている光市のコミュニティスクールの取り組みは、全国からも視察が相次ぐほど注目されています。地価も安く、温暖で、晴れが多く、犯罪も少なく、戸建てでゆっくり過ごせ、健康になれる、子育て支援の充実した教育力の高いまちだと言えます。目指すは子育て支援や住環境が充実した文教住宅都市ということになると思います。徹底的に長所を磨き、発信していきたいものです。

ご提案いただいた学校での意見を聞く会については、ぜひ、まずは加賀美さんが校内で、意見交換会を開催する声を上げ企画し、我々を呼んでほしいと思います。我々からやりましょうということも大事ですが、皆さんのまちであり、主人公はみなさんです。

スウェーデンの16歳の環境活動家グレタさん。高校生が2018年8月、たった一人で始めた「気候のための学校ストライキ」は、世界規模の大きな若者の運動へと広がりました。昨年のニューヨークでの国連気候行動サミット開催前、9月20日に行われた「グローバル気候マーチ」には、世界の163カ国・地域で400万人以上が参加したといわれています。一人の声が世

界を動かしている。加賀美さんにも出来る。ぜひ、我々は主体的な行動に期待したいと思います。

○森重議員

高校生の日常の動きや生活について紹介いただきました。そこには私たちが知りえない若者から見るまちの姿が浮かび上がってくるわけで、大変興味深く聞かせていただきました。貴重な提言、ご意見もいただき、もっともっと、光市の今の姿について市外の高校生の声も聞いてみたいと感じた。

まちの賑わい、レジャー遊び場、また学習スペースとなる若者の居場所等、高校生の皆さんが求めるものが、例えば、徳山駅のような人の集まるスペースが、各市町にあれば理想的だとは考えます。

一方では、周南圏域という範囲の中で光市の良さ、まちの在り方も大切です。また、高齢社会を迎え、まちに住む高齢の方々の生活の目線は、日々の買い物や通院の手段が求められています。また、時代的には気候変動による防災対策と、このように異世代の求めるものはその時々、その時代時代で違います。そのようなものを思い合せて、1つの若者世代のまちの魅力像、貴重な意見として、今後の取り組みに生かしていきたいと思います。

もう一点、まちづくりに重要な思い、光市を思う心、加賀美さんの「光に住んでいる私は悔しい」との思いを伺い、わがまちに対する誇り、プライドを大切にしていきたいと思いました。

○大田議員



光市に住み、光市の高校に通学する現役の高校生の目から見た光市について、胸襟を開いたご意見をいただきました。私たち大人には見えない、気づかない立場での、光市の足りていないもの、あるいは自分がなぜ投票しづらいのかなど、高校生の気持ちを代弁した勇氣ある発言でした。

加賀美さんの発言の中で、私たちが大事にしていきたい、育んでいきたいと感じたところがたくさんありました。多くの高校生、一人ひとりが「自分の立場だけでなく、広く周囲に目を配り冷静な判断をしっかりとした自分の意見を持っている」と頼もしく感じました。

今、若者にとって魅力ある光市に向け、若者の目で見た具体的にご意見をいただきました。加えて若者が市政をより理解できる積極的な議論の場づくり等、「光市の未来像を一部の生徒だけでなく、広く行政・議会と話し合う場が欲しい」とご意見に、私たち議会は意見交換のすそ野を広げていく、PRしていく必要があると改めて感じました。

18歳からの投票率を上げていくためにという押し付けの思考法だけでなく、光市の良い未来を一緒に考えていくことが必要です。意見交換する場づくりを重ね、若者にとっては、もちろん光市民にとっても魅力ある光市にするべく、関心・希望・投票への良いサイクルを一緒に築きあげていきましょう。

光高等学校 【発表者】 藤井 愛美さん

選挙権年齢が20歳以上から18歳以上へと引き下げられましたが、現在若者の投票率が低いのが現状です。原因としては、自治や政策に対して若者は無知で関心が低いこと、政策の恩恵を



実感することが少ないことが挙げられます。

光高校では総合学習を通して、市の活性化のために私たちは何をする事ができるかを考え、まとめ発表の準備をしていますが、その活動の中でさえ、予算面や実現性を考慮したとき、これだという有効な案が思いつかないのが現状です。

少子高齢化や人口減少というネガティブな情報が前面に出ていて、高校生が将来への希望や夢を想像するのが難しく、その閉塞感が投票率減少の原因の一つになっているのではないかと考えます。

私たち若者は、話題性や賑わい、多くの人が集まる場所、ショッピングやレジャーを楽しめる施設を求めています。これらを満たす市の成長戦略やグランドデザインが明確に提示され、少しでも日常生活の中で変化や恩恵を感じることができれば、市の将来に対する希望や魅力を実感することができ、政治への関心も高まると考えています。光市は多くの観光場所や施設を有していますが、各地に点在しており、光市と言えばココというスポットや、突出して人が集まり賑わう拠点がありません。それぞれの観光地を点でそれぞれPRするのではなく、中心拠点から線で結ぶような戦略が必要であると考えます。そのために観光・レジャー産業の中心となる施設を作る必要があると考えています。

最近では、光市と同じ人口減少・少子高齢化という課題を抱えた長門市が、観光と第一次産業を活性化させる目的で、センザキッチンという、地元の遊覧船と漁場、観光の拠点化、道の駅という複数の目的を一か所に集約した観光拠点を作り成功を収めています。また、企業誘致、星のリゾートの誘致を次の二本柱とし、長州鶏などのブランド化とイベントの実施で市を成長させる計画を立て、PR活動を積極的に行っていることを耳にします。

光市も、県内で唯一各種マリンスポーツが楽しめる施設や冠山総合公園、瀬戸内海に面した漁港など近隣の市と比較しても魅力のある場所を多く有しています。市独自の魅力を前面に押し出し、複数の機能を集約した拠点を作る、市の成長のためのグランドデザインをわかりやすく市民や企業に提示し動き出すことで、人の流れや雇用、働き方が変化していくと考えています。

また、人口減少対策として、外国人労働者を優遇して、国際色が強く外国人が住みやすい市を目指すのも良いのではないかと考えています。こうした変化に伴って、直売所の整備、ウォーターフロント整備、まちなみ整備などを段階的に行うなど次に取り組むことも見えてきます。その拠点を中心にイベントや光市に因んだマルシェを開けば、光市のPRにもなります。先の展望や、将来への希望がより具体的になっていくのではないかと考えています。この大規模な計画に伴った変化を光市民が強く実感できれば、光の魅力や良さをわざわざ探さなくても自然に人の集まる魅力的な街になると考えています。

以上で発表を終わります。ご清聴ありがとうございました。

○萬谷議員



少子高齢化や人口減少のようなネガティブなニュースばかりが先行している現代において、夢や希望が現実的でないとか、政策の恩恵を実感できないとか、だから政治に関心が薄く当然投票率もあがらない、というご意見は核心をついていると思っています。このような思いをさせている大人たち、行政にかかわる僕たちを含めて責任を感じています。光市の観光地を点ではなく線で結んでいくとか、マリンスポーツのご提案はしっかりと取り組んでいきたいと思っています。

若い人たちだけでなく、全体的に投票率が下がってきているという現実を受け止めて、友だち同士で「選挙に行くか、行かないか」という話題が自然に出るようなまちづくりに取り組んでいきたいと思います。

○笹井議員

長門市は捕鯨の町でしたが捕鯨産業は衰退しました。しかしイカやアジなどの漁獲があり蒲鉾や練り物といった二次加工品を生み出しています。陸にあがれば昔からの養鶏（ニワトリ）やゆずきちなどの農産物があります。このような一次二次産業の集積が、三次産業である観光交流拠点でもあるセンザキッチン成功につながったと理解しています。



光市には海・畑・田んぼはありますが、光市ならではの海産物や農産物はまだまだ少ない状況です。魚は取れますが、かまぼこや練り物の加工場はない。観光施設の土産元コーナーを見ても、光市産の土産は数えるほどで、観光やレジャーとなる施設が繁盛するためには、そこに流通する一次産品や二次加工品を作るところから始めなければと考えます。

聖光高等学校

【発表者】

中江 玲磨 さん



私は聖光高等学校の中江玲磨と申します。周南市の出身です。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

私は、サッカー部に所属しています。聖光サッカー部は全国大会に出場することで、学校だけでなく、この光市も活気づけたいと思い、日々練習に励んでいます。昨年は残念ながら全国大会に出場することはできませんでしたが、この雪辱は後輩が必ず果たしてくれると信じています。

さて、今回私は『スポーツの力で光市の明るい未来を拓く』をテーマに「大型スポーツ施設の建設」を提案させていただきます。

私は聖光高等学校でスポーツが持つ力の偉大さを何度も実感してきました。その一つ、サッカー部のインターハイ予選の決勝戦は今も胸に熱く残っています。会場には家族、親戚、クラスメイトをはじめ、中学校の時の先生や友達、地域のクラブチームの指導者の方や子ども達・・・本当に多くの方が応援に来てくださいました。試合はPK戦までもつれ、優勝はできませんでしたが、選手と応援席が一つになった感動は忘れられません。

聖光野球部も全国大会を目指して活躍しました。会場には卒業生の方や地域の方たちが数多く足を運んでくださり、1回戦から活気に溢れていました。また、陸上部やアーチェリー部、ヨット部は全国大会に出場していますが、日常の練習においても、地域の皆さんの声援を励みに頑張っています。

スポーツは選手だけでなく、応援し見守ってくださる人の力にもなり、それが活気を生み出し、世代を超えた明るいまちづくりにまで繋がっていく力があるのだと思います。しかしながら、現在、光市には屋外競技において公式戦を開催するのに十分な施設がありません。もし、公式戦を開催できるような大型の競技場があれば、今よりもっと多くの人が光市を訪れるようになると思うのです。

また、光市では駅伝や野球など企業スポーツも非常に盛んです。企業チームの活躍は、若者の地元企業への定着だけでなく、県内外や海外からの移住にも繋がると考えられます。実際、昨年のラグビーワールドカップの際、キャンプ地になった地域が活気づいた様子はテレ

ビで盛んに取り上げられました。また、その後の企業リーグの盛り上がりも続いています。これもスポーツの持つ力と言えます。

これから未来に向けて、光市のたくさんの魅力を伝えるためには、光市を訪れる人の数を増やすことも大切です。そのためには、まず、施設を充実することが直近の課題です。だからこそ大型スポーツ施設の建設を私は提案したいと思います。

最後に、私は光市内の企業から内定をいただいております、社会人として4月からは光市での職業生活が始まります。たくさんの事を教えてくれたこのまちに、今度は社会人として恩返しをしていきたいと思っています。

ご清聴ありがとうございました。

○岸本議員

中江さんのテーマはスポーツの力で光市の明るい未来を拓く、具体的な提案として大型スポーツ施設の建設をということでした。スポーツが持つ力は人々に夢や感動を与え、地域には誇りと愛着を与え、若者の定住、就職までにも影響を与える大きな力があるという内容だったと思います。私もおっしゃるとおり、スポーツは人々の交流を深め、互いに理解し合い、連帯感を深め、活気ある明るい社会を築く大きな力を持っていると思います。提言いただいた、公式戦のできる大型スポーツ施設の建設は、大変難しい課題だと思いますが、光市全体を大きな運動場と考え、スポーツ公園や体育館だけでなく、道路、山、川、海などあらゆるものを使って、光市をスポーツシティーに作り上げていくことは可能ではないでしょうか。スポーツを活用したまちづくりは、社会問題の解決に大きく役立つ、一つのツールであることを改めて勉強させていただきました。最後に、これから社会に羽ばたいていく中江さんをエールでお送りしたいと思います。サッカーのサポーターがよく使いますが「中江やっぱ、お前が一番だな」以上です。

○木村議員



素晴らしいご意見だと感動しました。今日、たまたま会場に高校の時の同級生が来ており、思い出したのですが、私は当時、あまり褒められる生徒ではありませんでした。ある時、倫理社会の時間で教壇の上に、高校生らしくと書いてありました。そして、先生に何か意見があるかと聞かれたので、先生たちが考える高校生らしくとは何でしょう。先生が思う高校生らしくと私が思う高校生らしくとは違います。先生たちの高校生らしくを押し付けないでくださいと言ったことがあります。今日、皆さんの発表を聞いて、つくづく高校生と大人の感性が全然違う。そういったものをしっかり受け止めて、これからのまちづくりの提言として役立てていきたいと思っています。私たちは執行機関でなく、議決機関です。今すぐ、これをやりますとか、この予算を付けますとは言えません。ただし、皆さんの意見を市にぶつけることはできます。そういうようなことを改めて感じる発表でした。

○磯部議員

私もスポーツの持つ力は素晴らしいと思っています。去年のラグビーワールドカップでも、日本中がワンチームになった。光市でもそういう施設があれば、ワンチームになれる。岩手県紫波郡紫波町には、バレーボール専用コートのオガールアリーナがあり、



オリンピックの競技会場に近い形で練習できるので、日本国内のプロチームが合宿で活用され、小さなまちが活気づいているそうです。こういうまちを見ながら、出来ないことを探すのではなく、どうしたらそういう施設が出来るか、高校生の皆さんともいろいろと知恵を出し合いながら、未来に向けて想像していきたいという思いを持たせていただきました。中江さんはこの4月から社会人になられるそうですが、これまで苦しい練習や試合を乗り越えてこられたと思いますので、その力を光市にぶつけ、影響をたくさんの人に分けていただき、一緒に頑張っていきたいと思います。

2 高校生と光市議会の意見交換 要点筆記

①光丘高等学校 松村 朱夏 さん

光丘高校は閉校に向けて、プロジェクトを設置しイベント等を検討しています。光市とも協力してプロジェクトをできないかと考えていますが、何かご意見があれば伺いたいと思います。

○笹井議員

昨年の光市教育フォーラムで、光丘高校の演劇を見させていただき、感激しました。光市内でもいろいろな文化イベントがあります。今まで学校と地域のコミュニティと別々だったものが多かったんですが、光丘高校の取り組みを活かすために、地域コミュニティの行事などと連携できるように、議会として窓口となっていきたいと思います。



②光高等学校 藤井 愛美 さん



周防大島のロードレース大会に参加しましたが、他市からの参加者は市で一体となって応援し盛り上がっていました。光市内の3校や光市民が一緒になって盛り上がるイベントはできないものでしょうか？

○田中議員

今日は3校の生徒が来ているので、藤井さんの思いは伝わったと思います。高校もコミュニティスクールが進んでおり、地域も一緒になって応援しながら作り上げることに大賛成です。アイデアを聞かせていただきたい。

③光丘高等学校 杉岡 遥花 さん

光市には多くの自然がありますが、光市民しか知らないような、おすすめスポットを教えてください。

○磯部議員

室積の峨眉山の遊歩道を通して、高台のあたりに絶景の場所があります。右を見ると草フグの産卵地が見え、左側は灯台の向こうまで見えます。どちらかというと、草フグ、護国神社付より灯台寄りの上の方です。素晴らしい絶景の場所なので、ぜひ行ってみてください。

○森戸議員

周防の柱松をやるところで、島田川に架かる旭橋とその上に沈下橋である小野橋があります。小野橋は一昨年の豪雨災害のため、現在通行止めになっていますが、その辺りは、以前、放送局が撮影していましたが、四季折々でいろいろな表情がありますので、ぜひご覧になってください。

○林議員

大和地区の束荷は、初代総理大臣である伊藤博文公の生誕の地で、ぜひ足を運んでいただきたい。そこからちょっと、田布施町寄りに、標高 362mの岩城山があります。そこには石城神社や神籠石もあり、ロマンを秘めた山として、徒歩だけでなく車でも登れるので、行ってみてください。

④光高等学校 石部 百音 さん

来年から光高校と光丘高校が統合しますが、光高校から光駅までバスを通してもらえないでしょうか？

○笹井議員

これまで市議会では何回かバスについて質問してきました。バス会社としては、お客さんが乗って経営できるのなら走らせる、というスタンスです。光市のJRバスは、附属小中学校の生徒が使っている部分が経営的に強いようです。光高校までバス1台が満車になるようなニーズあればよいのですが、雨の時だけ乗りたいでは経営的に成り立たないと思います。



⑤光高等学校 金 花朗 さん



光高校から消防署の横を通って島田に下る道路は街灯がなく、夕方は車のヘッドライトで歩行者が見えません。下り坂部分に街灯をつけてもらえないでしょうか？

○笹井議員

光市では毎年8月に小中学校・警察・道路管理者が集まり安全点検の会議を開催しています。高校生の通学路については検討対象となっていないと思われるので、反映されるよう取り組みたいと思います。

⑥光丘高等学校 大倉 一菜 さん

光市では多くのボランティア活動をやっていると思いますが、人手が足りなかったり、高校生の力が必要な活動はありますか。

○仲山議員

中学生、高校生のリーダー研修において、高校生への協力要請はたくさんあると思います。例えば、光市人形劇フェスティバルの運営や、図書館まつり運営とか、いろいろな場面でリクエストがあります。民間の方のイベントでも、ゴミ収集、ゴミ箱係というのも以前室積で行われ、中学生、高校生がゴミの散乱を防ぐために、ゴミ拾いやゴミの分別をやったり、いろいろな場面で、要望があります。高校生の皆さんにもボランティアのサークルであるJRCを窓口としてお話が行くこともあるかと思います。たぶんそれをマッチングする場が必要なんだと思います。そういうことを私たちも提案しなければいけないと今、改めて思いました。

⑦光高等学校 石田 晃大 さん



高校生の主張で、市内にショッピングセンターやスポーツ施設などの新しい建物を建てて欲しいという意見が多くありました。子ども達が楽しめる建物が必要です。ショッピングセンターを建てることに前向きな議員の方は「○」の札を挙げてもらえますか。（○：×の割合がほぼ３：２）

「×」の方の意見が聞きたいので、お願いします。

○河村議員

ショッピングセンターについては、それを行政が造るのかという問題が一つ出てきます。賑やかな買い物をする場所がないので、行政が肩代わりして造るのかということです。大きなデパートや遊園地のようなところはありませんが、最低限の買い物をする場所は一応ありますので、ショッピングセンターというものを行政は造りにくいと思います。先ほどのスポーツの施設については、全国に行くために必要ではないかと思っています。私個人としては、そういったものは積極的に造っていかねばならないと思います。



⑧光高等学校 井上 秋夜 さん



道を歩いていると、道端にゴミ・糞・吸殻が多いので清掃活動を多くしてほしいと思います。

○木村議員

毎年７月にクリーンアップ作戦を実施しているほか、市の職員や企業の皆さんがゴミを拾って歩いています。自助・共助・公助の段階を踏まえた協力が必要で、皆さんも参加してほしいと思います。

⑨聖光高等学校 中江 玲磨 さん

先程、光市の企業に内定をいただいていると言いましたが、製鉄関係の会社です。しかし、赤字のため、呉工場を閉鎖します。もし、光工場が閉鎖になれば、光市も大きなダメージを受けます。それに対して、何か対策を取っていますか。

○西村議長

今日、他の行事の時、その話が出ました。光は幸いにして、ステンレスを中心にしていますので、呉とは事情が違うようです。なくならないように、皆でステンレスを使いましょう。光市でも建物の外構に、柵がありますが、そういうものにステンレスを使う。典型的なものは、し尿処理をする深山浄苑の建物がありますが、その柵をよく見ると、地元のステンレスを使っており、すごくきれいです。ちょっと値段は高いかもしれませんが、地元で積極的に使う。ご両親にお願いして、ご自宅の柵もぜひ、光工場のステンレスにしてくださいというのも一つの手だと思います。鉄は日本の基幹産業ですが、呉工場が溶鉱炉を止めるようなことが新聞で発表されましたので、そうならないように皆で地元商品を使いましょう。値段だけで外国製品を選ぶのではなく、我々も考え直さなくてはいけない時代になっていると思

います。ぜひ、いい仕事をしてください。ご協力します。

⑩光高等学校 平田 涼太 さん

光駅は光市の顔で、虹ヶ浜のサンドアートや花火大会で賑わっています。光駅には虹のモニュメントがありますが、もっと大きくして活性化ができないでしょうか？

○大田議員

昨年から光駅前の拠点化構想を進めており、駅前広場・駅の橋上化・海の見える駅などの構想について検討しています。



⑪光丘高等学校 田崎 陽真莉 さん

議員の皆さんの学生時代の様子を教えてください。

○木村議員

私は褒められた優等生というより、どちらかというところ落ちこぼれでした。成績のいい人と、そうでない人がいると思いますが、人生の終着点は決してその時だけで決まるものではないと思います。自分がどう過ごすか、最終的にどうなりたいか。人生の目標を明確にし、どう生きるかということが大切だと感じています。



⑫光丘高等学校 三浦 了 さん

私は柳井市から通学しているので、有名なところは知っていますが、議員の皆さんは光市民しか知らないマイナーなスポット等、いろいろ知っておられると思います。遠くの市の人に伝えていけるとか、押していける場所やイベントがあれば教えてください。

○大田議員

光駅から島田の方に向かって行くと、浅江に清鏡寺という寺があって、昔、豊臣秀吉と戦った、備中高松城城主の清水宗治の墓があります。それから立野には向山文庫といって、山口県で最初の民間図書館があります。光市史にも載っていますので、ご覧になって、勉強してください。

○仲山議員

スポットですが、室積の簡保の宿の近くで、田布施に抜ける道の途中に、大きな木がうっそうと茂っている「もりさま」は呼ばれる所があります。お宮はないんですが、様という名が付いていて、神聖な場所です。それから、室積の早長八幡宮秋祭りで山車の引き回しがありますが、市民にもあまり知られていないというので、残念です。一度は足を運んでいただき、一緒に綱を引っ張ってもらいたいと思います。



⑬光丘高等学校 玉那覇 莉子 さん

私は周南市民で、光市のボランティア活動をなかなか身近に感じることはありません。光丘高校は市外から通学する学生が多く、私と同じように感じている人も多いと思います。そんな人に、どのように声掛けや、参加促進をされるのかについて伺います。

○笹井議員

光丘高校では先程話があった演劇部を始め、いろいろな部活動をされています。浅江地区では浅江コミュニティ、商店会と一緒に浅江のポスターを作ったという活動も見させていただきました。光丘高校と光高校が統合されても、今ある部活は出来るだけ継承されるように、学校や教育委員会では考えています。皆さんの活動がそこで終わるのではなく、地域とつながるよう、私たち大人の責任として、取り組んでいきたいと思います。

⑭聖光高等学校 寺田 諒平 さん

いつか分かりませんが、南海トラフのような大きな地震が起きると聞いています。光市は過疎化や都市化が進む中で、それに対する対策は何か考えていますか。

○大田議員

南海トラフや他の災害に対して、光市は今、防災指令拠点施設を建設しようとしています。この施設は耐震に関する情報を提供したり、災害における対策を立てたり、指揮したりするためのもので、早急に建設するための予算が出され、議会で承認したところです。



○仲山議員

今、防災に特化した建物の計画についてお話しがありましたが、それ以外にもたくさんのことに取り組んでいます。また、情報を提供する手段として各所に防災無線がありますが、それだけでなく、いくつかの方法でお知らせする手段も講じています。また、情報伝達後、市民の皆さんの避難行動に繋げるため、各地域で自主防災活動を盛んにしようと、努めています。建物については耐震性が不足しているものが市内にたくさんありますが、無料で耐震診断する制度もあります。また、改修するための補助もあります。その他にも地震や風水害等に対するいろいろな対策を取って、進めているところです。

○西村議長

先程の○×のコーナーで皆さんが×を出したものがあります。議会のしおりを開いていただくとバーコードがあり、市からのメール配信サービスについて、書いてあります。それを登録していただくと真っ先に地震が来ますという情報が入りますので、ぜひ登録してください。南海トラフ以外にもいろいろな災害がありますので、まずはご家族と、万が一の時はどこに避難しようねとか、どういうふうに連絡を取り合おうねということを確認してください。この会が終わったらぜひ、光市のメール配信サービスに登録してください。

⑮光高等学校 岡本 宙篤 さん



陸上練習をする際、歩道に凸凹の場所があるので直してほしいと思います。具体的に言えば、光高校の近くとか周防工業団地の周辺です。

○森戸議員

具体的な場所がわかれば、連合自治会長さんと協力して対応したいと思います。道路の補修をする部隊も市役所にあります。

⑯聖光高等学校 赤根 初香 さん

私は室積に住んでおり、峨眉山や早長の秋祭りなど素晴らしい行事があるのに、室積の方に行くにつれて、活気がないと感じています。どうにかならないでしょうか。

○笹井議員

私は、室積で焼きそば屋をやっていますが、室積だけでなくどこでも、人口減少で売り上げが減っています。光ではあまりないんですが、他所に行くと、何十年か前に作ったショッピングセンターが、どんどんつぶれてゴーストタウンみたいになっています。光は無理をしないので、あまりそういうところがない。確かに店は少なくなっていますが、地区を限定するのではなく、もっと多くの人に遠くから来てもらって、商売するお店は室積でも古い海商通りとか、海辺が見えるカフェや、漁協の近くにボルダリング場ができたり、地域を活かして、他所から楽しんでもらえるような店など、室積は結構頑張っているんじゃないかと思います。とは言っても人口が減っているので、地元としても頑張っていきたいと思います。



⑰光高等学校 藤井 愛美 さん

議員の皆さんは普段から、光市がよくなるように努めていらっしゃると思いますが、市の政策が様々ある中で、私たち高校生が何か手伝えることはありますか？あれば、具体的に教えてください。

○木村議員

高校生の皆さんには、地域で意見をどんどん出してほしいと思います。地域の自治会やコミュニティに参加して、皆さんの意見を伝えてください。そうして活動に参加されると、色々な事が見えてくるとと思います。

○森戸議員

先日、岡山県総社市に行政視察に行きました。その時、話をお伺いした中で、一昨年、大きな川の氾濫があり、市長がツイッターでボランティア募集を発信したところ、1000人ぐらい集まったそうです。光市でも一昨年大きな災害がありましたが、その時、泥を出したり、色々な手伝いが必要でしたので、今後、このような災害が起きた時には率先して、地元の手伝いをしてほしいと思います。



3 傍聴者アンケート集計

(1) 今回の意見交換会の感想、意見等をお聞かせ下さい。

- ・ 高校生の活発な意見や議員に対して〇・×を求めたり堂々とした姿に感動しました。議員へ逆指名もありました。すばらしい。高校生が積極的に手を挙げ、質問され、平素から問題意識が高いのかなと感じました。また、高校生たちが、自由に意見が出やすい雰囲気づくりもあるのかと思いました。今後、光市の将来を考えていかれるリーダーとなってもらいたいと思います。高校生の柔軟な考え方に感動しました。
- ・ 本日の傍聴ありがとうございました。事前準備、事務関係者、関係議員の方々、ご苦労様でした。一番最初のスクリーン説明ですが、通常の報告などスクリーンの位置が横にありました。見えにくさなどの関係があったのか分かりませんが、傍聴席から見えにくい状態でした。できるならば、私としての思いは、正面の位置が良いのではと思いました。
- ・ 直接、議員さんの市議会の仕組みを聞くことで、今回出席した高校生達も勉強になったと思います。やはりこれから多くの高校生達が、直接議員さん方と接する機会があると自分たちの住む光市について現実的に（自分のこととして）考えることができるのではないかと思います。毎年、この意見交換会は行われていますが、これからどんどん今から大きく広がって学校規模の交換会が行われて行くとういと思います。
- ・ こういった機会を作って頂きありがとうございます。政治に関心を持たせるためにも、参加させていきたいと思っています。様々な提言？させて頂きました。今後は、精度をもう少しあげて良いものにしていくといいと思います。ありがとうございました。
- ・ 変えられると思っている人が、約20%あれば上等だと思う。資本主義国家であることや、他を尊重し、他に任せるという風土がある以上良くはならないと考える。身近にかんじてほしいという割には、全体の雰囲気や言葉遣いが固い。通常の議事の進行をイメージ出来た点は、勉強になった。発表する高校生の意見レベルが高くてびっくりした。議論に対し、仮でもいいので実現するためにはどうすればいいのかと言う話をすべきだ。きれいな言葉で返しているが、結局は一つの意見として受け取ります。と言う形で終わり。難しいとは思いますが、一つのプロジェクトとして実現させるところまでやって欲しい。全体を通して、様々な考えを聞くことができる良い機会でした。意見交換はとても有意義だったと思う。バスの話、通学路の話、車で通るだけだとわからない事がわかってよかった。ボランティアのマッチング。若者受けする施設を造ってほしいで、×の人の理由は行政で造るのが難しい、老人受けしないので造れないだろうといったところ、周南と商業圏がかぶるからなどあると思うが、若い人が面白いと思ってくれる活動を作っていくのも一つではなかろうかと思う。難しい言葉も多いので、かみ砕いてみた方が良いのでは？
- ・ 主旨説明→内容が伝わりにくい。紙に書いて配るべきでは？配布資料の最後の座席表→高校生の氏名が書かれているが、個人情報保護の問題はないか？高校生の発表後、意見を言う議員さんは、発表した高校生の方を向いて話すべき。高校生の提言への回答のポイントをスピーディーに議会HPで公表して欲しい。意見交換のコーナーでの司会の高校生を和ませる進行は、良かった。若い人に寄り添える議会のあり方が見えた。
- ・ 21名の体験者にとって、素晴らしい時間になったと思う。この種の企画は、最も指導効果のあるもので続けて欲しい。3校の若者の感性を集約した意見が出された。具体化の時期に来ていいと思う。議員側の意見は、本質的には、「Yes But」思考が多く、若者を最も失望させる！と印象づけた。このままだと、21世紀のルネサンス・・・早まるかも。傍聴

の機会を頂きありがとうございます！

- ・議員の皆さんが、高校生の意見や提言に、まじめに答えていらっしゃるとても良い会でした。ここで出た意見や案の中から一つでも実現できるものがあれば良いと思います。次年度の会で、この会で出たことから実現した事が、一つでも報告出来れば、高校生たちは、自分達の力で何かが出来ると感じてくれるのではないのでしょうか。
- ・若者の率直で新鮮な意見、要望を聞きました。是非、一つでも具現化出来るよう行政とタイアップして若者の期待に応えてください。
- ・会場設置の仕方が問題です。パワーポイントの画面は正面に設置。説明・司会者は、その横からの方が出席者全員が見やすいはずです。司会者の発言が硬い。一般質問口調でなく柔らかく。意見交換のコーナーの司会は、進行も含め、柔軟で良かった。高校生とモニターとの意見交換会が出来たらよいのかと思います。

4 参加高校生アンケート集計

(回答 21 回収率 100%)

(1) 市議会の役割や活動は理解できましたか。

- ・理解できた (10 人) ・ある程度理解できた (11 人)
- ・あまり理解できなかった (0 人) ・理解できなかった (0 人)

(2) 今まで市議会に関心はありましたか。

- ・あった (3 人) ・少しあった (7 人) ・なかった (11 人)

(3) 今日、参加して市議会に関心を持つことはできましたか。

- ・持てた (11 人) ・少し持てた (10 人) ・持てなかった (0 人)

(4) 今回のような意見交換会を開催することについて、どう思いますか。

- ・積極的にやるべき (21 人) ・必要性を感じない (0 人) ・わからない (0 人)

(5) ズバリ、市議会議員をはじめとする政治家になりたいと思いますか。

- ・なりたと思った (2 人) ・特になりたくはない (11 人) ・わからない (8 人)

(6) 今回の意見交換会の感想、意見等をお聞かせ下さい。

- ・私たちの意見をちゃんと聞いてくれて嬉しかったです。光市民ではないですが、光市の

方針や意見が聞けて良かったです。あと一年あるのでもっと魅力を知っていききたいと思いました。

- ・自分達、高校生の考えることも実現されるために、話し合われるといいなと思った。
- ・このような機会を 設けて頂きありがとうございました。
- ・公式の場で発言できる貴重な機会に緊張しました。
- ・普段、他校の生徒の方と意見交換をすることがなかったので、今回とても良い経験になりました。また、この機会があれば是非、参加したいと思いました。とても楽しかったです!!ありがとうございました!!
- ・市会議員の皆さん方が、普段行っている会議を見る事が出来て良かったです。
- ・今まで議員さんと話す機会がなく、テレビで見るだけだったのですが、実際に話してみとすごく気さくで、楽しく、また話したいと思いました。
- ・若い世代の人々と意見をよく交換してほしいです。
- ・もっと色々な人が意見を気楽に話し合いたい。
- ・光市をもっと輝くように、頑張って欲しい。
- ・一人ひとりの議員さんとお話することはあるけど、このような人数の方と 意見を交換できて、若者の意見も、取り入れやすくなるかな と思ったので、すごく良い機会になったと感じています



参加いただきました皆様、ありがとうございました。

光市議会議員一同